

真田地域協議会 会議概要

1	審議会名	第11回真田地域協議会
2	日時	令和6年2月27日(火) 午後7時00分から午後8時00分まで
3	会場	真田地域自治センター3階 講堂
4	出席者	荒木克子 委員、金井由造 委員、木島徳行 委員、澁澤春代 委員、清水由香 委員、関口俊行 委員、高寺由美子 委員、田畑和秀 委員、廣瀬しず江 委員、堀内和子 委員、堀内靖子 委員、本多美和 委員、丸山美奈子 委員、皆川克彦 委員、宮島淳 委員、柳沢泉 委員
5	市側出席者	佐藤都市建設部長、横沢交通政策課長、市川課長補佐兼交通政策担当係長 (上田バス株式会社 伊藤運輸部次長) 田中地域自治センター長、羽毛田地域自治センター次長兼地域振興課長、半田市民サービス課長、小林産業観光課長、田中真田地域建設課長、松木教育事務所長、山浦真田消防署長、下平管理担当係長、中村管理担当主査 宮島課長補佐兼地域政策担当係長、坂井主事、望月主査

協議事項等

1 開会 (田畑会長進行)

2 会長あいさつ

3 センター長あいさつ

4 報告・確認事項

(1) 路線バス等の廃止について

- ・交通政策課、上田バス株式会社

・質疑

【委員】 どういった基準で減便等が決まっているのか教えてもらいたい。今回減便の裏で傍陽線はこれまでなかった日曜日に走るという事で、自分自身はなかなか乗車する機会を作れていないが子どもたちは利用する機会ができてうれしい。それらがどんな基準で減便があり、また増便となったのかを教えてください。また折角バスが走る機会が増えるのだから周知にも力を入れてほしい。

【上田バス】 まず、真田線が最も減便となる対象でそれがなぜかという理由について、まず菅平高原線が通年(真田線と並行して)運行しているという事がある。また、土曜日については(真田線区間の)真田～自治センター間についての乗車がほとんど無いという状況が統計を取った中で分かっている。朝などは多少乗車のお客様はあるものの、(日中は)ほぼいらない。そういったこともあり近隣住民の方には申し訳ないが真田～自治センター間については菅平高原線を御利用していただければと思う。一方、自治センターからはかなり多くのお客様もいらっしゃるという事で、傍陽線を減便するとかかなりの影響が出ることが予想されるため、引き続き様々な統計を取っていくが、今回傍陽線の減便は行わない。また、日曜に傍陽線を増便するというより、真田線が土曜日運休するという事から、日曜日に通年で真田線を運行しているものをゼロにしてしまうと自治センター～真田間を利用しているお客様にご不便をおかけしてしまうため、真田線を減便するが、傍陽線を軸にするということで、傍陽線を二本ずつ、入軽井沢・大倉行を増便するという事である。

【委員】 よく理解できた。

(2) 第10期地域協議会に向けた引継ぎ事項の確認

- ・事務局から説明

【会長】 次期協議会につなげていく為にも皆さんから意見をいただきたい。

【委員】 今一番地域で問題になっているのが自治会のあり方だ。どうしても、(旧来のとおり)役員を決めなければいけないなどいろいろな面で問題を抱えているのが現在の自治会の姿だ。多くの住民の中で、この問題を考えていかなければ自治会の存続にも関わってきていると感じる。また、地域協議会

にもう少し若い世代を入れていってもいいのではないかと思う。地域団体の選出などあると思うが、若い世代の発想など大切にしていける為、そういったことも考えていていただければと思っている。

【会長】 大事なご意見をいただいた。ほかに今期で退任される委員の方からどうか。

【委員】 今期で退任になるが、一期目の時は分科会を多く行っており、委員同士の中でかなり煮詰まった話をしてきた。この間コロナなどもありここ数年そういったことができていないが、一方的に話を聞くだけでなく、委員同士で活発に議論をしていくことも大切だと思う。この地域協議会は市長に提言できる機能も持っているはずなので、そういったところまで地域協議会の役割を高めていければと思う。また先ほどもあったがこの協議会に来て大変勉強になった。なおのこと若い人にも参加してもらいたい。もっと参加すべき人が地域に入ると思っている。

【委員】 地域協議会の委員になった時に自分の達位置について考えてみた。この場合は行政と住民の意思疎通だったり、真田地域独自の問題についてはこの場で協議して形にしていく事だったり、また地域にとって良くない点は市に対してノーと言っていく事も必要なのだと思っている。我々は真田地域の一人の代表であり、ここにいる方々がOKだといったことは住民がOKだといったことになると思っている。少し失礼だが委員さんの中で何もしゃべらずにこの会から帰るといのは、もう少し積極的に発言があってもいいのではないか。またしないのであれば意義が無いのではないかと思う。またこの会に出ると何千円かの報酬として公金が支出される。こういった側面もあるためこれから進めていた方々にはそういった心意気をもって、一回に一度は発言する等などの意識を持っていただければと思う。今後の委員さんにはこれからのより良い真田町の発展のために自治センターなどと協力しながら進めていってもらえればと思う。

【会長】 ほかに自治会長の代表の方などいかがか。

【委員】 自治会連合会の当選職での選出だが、この会議で本当に色々なことを知る機会になった。こういう行政とのつながりがあるという事も初めて知った。こういう場があり、考える機会になった。そういう気づきになったわけだがここで学んだことをどのように生かしていくか、地域の話合いの場などで伝えてみんなが知らないことを浸透していくきっかけにしていければと考えている。

【会長】 自身も委員になって2年だが、知らないことが多くあった。これから知ったことを今後につながる形にしていければと思う。

(3) 次回地域協議会日程の確認

・第12回地域協議会の日程について、令和6年3月26日(火)午後4時を事務局から提案。終了後に懇親会を提案。

⇒ 提案通り、令和6年3月26日(火)午後4時開始

(4) その他

特になし

5 閉会